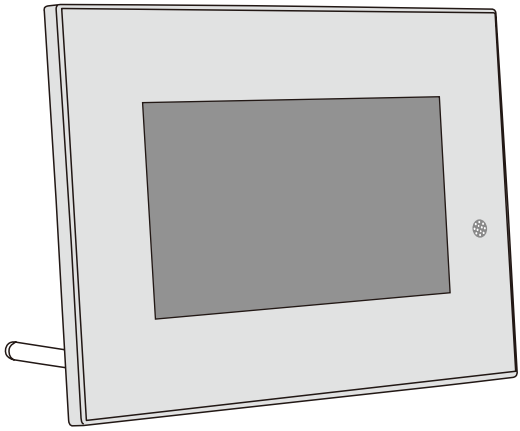


取扱説明書　お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

（おことわり）
本書の表記と本製品の印刷に一部異なる部分がありますが、操作には影響ありません。あらかじめご了承ください。

安全のために
はじめに
使用方法（基本編）
使用方法（応用編）
困ったときは
その他

⚠ 警告 安全のために

この製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3～5ページの注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体またはリモコンが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

① 電源を切る
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ お買い上げ店に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、接続コードを抜いて、お買い上げ店にご相談ください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

本体小物部品、AC アダプター、SD カードなどのメモリーカードや、メモリーカードアダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

付属の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

ACコードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

通電中の本機やAC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。
ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。
高電圧部品により感電することがあります。

スタンドを持って本体を持ち上げない

スタンドがゆるんで落下し、故障や障害、又は怪我の原因になることがあります。
持ち運びの際は、落とさないよう本体をしっかりお持ちください。

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下がらない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、怪我の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。
  ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

コードをACアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ

メモリーカード、コネクターなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。
本機が落ちると、けがの原因となることがあります。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

❗ご注意

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

目次

安全のために

警告・注意 2

はじめに

特長 7
同梱品 7
各部の名前 8

使用方法(基本編)

リモコンを準備する 10
スタンドを立てる 11
壁にかけて使用するには 11
電源をつなぐ 12
電源を入れる 12
現在時刻を設定する 13
日付の表示方法を選ぶ 14
時刻の表示方法を選ぶ 14
メモリーカード、USB メモリーをセットする 15
画面表示を切替える 16
スライドショー表示 16
時計・カレンダー表示 17
サムネイル表示 17
一枚表示 17

使用方法(応用編)

いろいろなスライドショーを設定する 18
スライドの表示数を設定する 18
スライドカラーを設定する 18
スライドの間隔を設定する 18
スライドの切替効果を設定する 19
画像の表示サイズを設定する 19
内蔵メモリーに写真(画像)を追加する 20
選択した写真(画像)をコピーする 20
写真(画像)フォルダーを一括コピーする 20
内蔵メモリー内の写真(画像)を削除する 21
選択した写真(画像)を削除する 21
写真(画像)フォルダーを一括削除する 21
内蔵メモリーを初期化する 21
画像の拡大と位置を調整する 22
画像を回転する 22

困ったときは

故障かな?と思ったら 23

その他

使用上のご注意 25
設置上のご注意 25
お手入れ 25
複製の禁止事項 25
本機を廃棄するときのご注意 25
カード使用上のご注意 25
本機で使用出来るメモリーカード 26
主な仕様 26

特長

• 様々な記録メディアに対応

SDメモリーカード、メモリースティック、USBメモリーなどのさまざまな記録メディアに対応しています。デジタルカメラなどから抜いたメモリーカードをそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。（15ページ）

• 多彩な表示機能

スライドショー、時計·カレンダー、
一枚表示を色々なスタイルで表示できます。（16ページ）

• 多彩なスライド表示

スライド表示は、自動的に画像を切り換えて表示します。カレンダー表示を含め、いろいろなスタイルが選べます。また、複数枚数表示など、再生条件の設定ができます。（18ページ）

• 画像を内蔵メモリーに追加

再生した画像は、内蔵メモリーに保存出来ます。（20ページ）

• いろいろな画面表示

通常のカラー表示はもちろん、セピアカラー、モノクロ表示など、お部屋の雰囲気に合わせて画像色を設定できます。（18ページ）

• 壁掛け対応

本機は壁掛けの写真フレームとしてもご使用いただけます。（11ページ）

同梱品

箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているかご確認ください。

- デジタルフォトフレーム（1 台）
- リモコン（動作確認用電池 CR2025 付き）
- AC アダプター（1 個）
- 取扱説明書（本書）兼保証書（1 部）
- USB 延長コード（1 本）

本書での説明について 取扱説明書内の操作は、リモコン操作を基本に説明をしています。

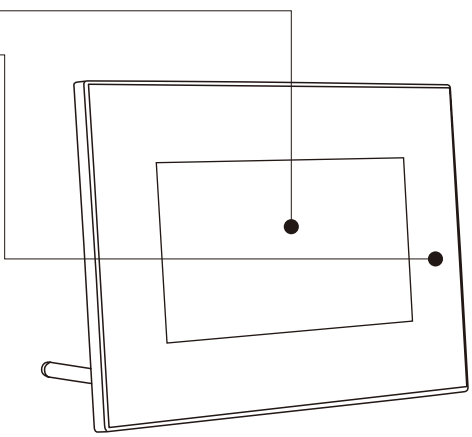
各部の名前

本体前面

❶ 液晶画面

❷ リモコン受光部

付属のリモコンを受光部に向けて、操作します。



本体背面

❶ USB 端子（15 ページ）

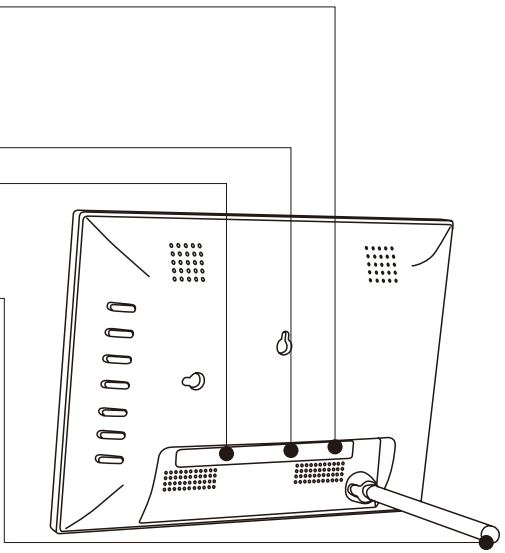
本機に USB メモリーをつないでお使いになるときに、USB ケーブルや USB メモリーを差し込む端子です。

❷ メモリーカードスロット（15 ページ）

❸ DC IN 5V 端子（12 ページ）

付属の AC アダプターと家庭用電源を接続します。

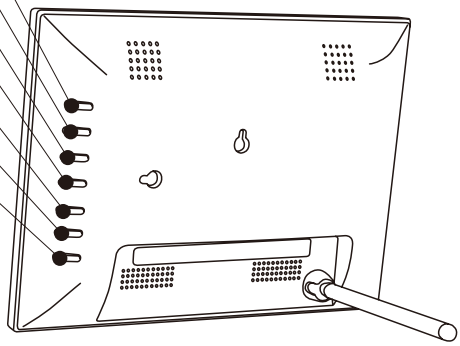
❹ スタンド（11 ページ）



各部の名前

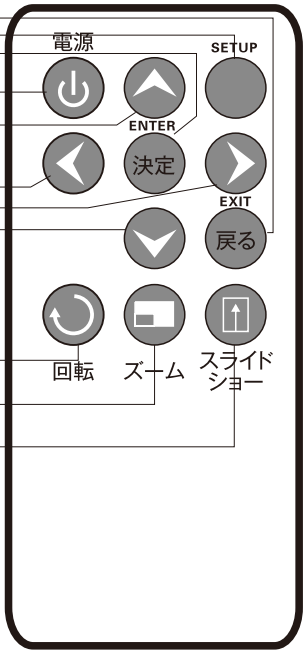
本体背面(操作ボタン)

❶ UPボタン 上へ
❷ DOWNボタン 下へ
❸ LEFTボタン 左へ
❹ RIGHTボタン 右へ
❺ EXIT(戻る)ボタン
❻ SETUP(セットアップ)ボタン
❼ POWER･ENTER(電源･決定)ボタン



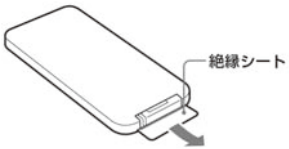
リモコン(操作ボタン)

❶ 戻る[EXIT]ボタン
❷ セットアップ[SET UP]ボタン
❸ 決定[ENTER]ボタン
❹ 電源ボタン(12ページ)
❺ 上へボタン
❻ 左へボタン
❼ 右へボタン
❽ 下へボタン
❾ 回転[ROTATE]ボタン(22ページ)
❿ ズーム[ZOOM]ボタン(22ページ)
⓫ スライドショー[SLIDE SHOW]ボタン



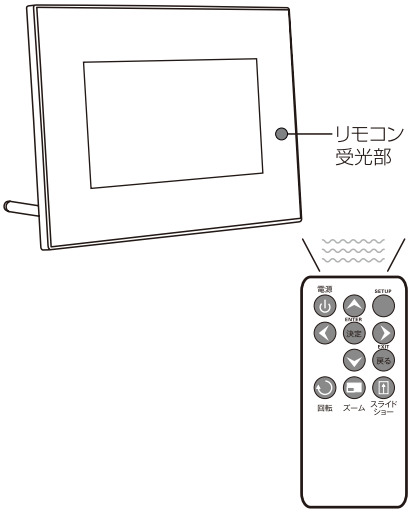
リモコンを準備する

付属のリチウム電池（CR2025）があらかじめリモコンの中に入っています。図のように絶縁シートを引き抜いてから使用してください。



リモコンを使うときは

リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



! ご注意

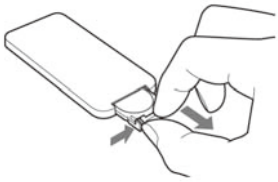
壁にかけてご使用の際、本体上のボタンで操作すると落下の恐れがあります。必ずリモコンで操作をおこなってください。

リモコンの電池を交換するときは

リモコンが動作しなくなったら、新しいリチウム電池（CR2025 ）に交換してください。

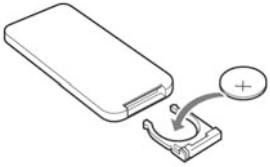
1 電池ホルダーを引き出す。

電池ホルダーのタブを内側に押さえながら、電池ホルダーを引き出します。



2 古い電池を電池ホルダーから取り出し、新しい電池を入れる。

電池の+が上になるように入れてください。



3 電池ホルダーを元どおりリモコンに挿入する。

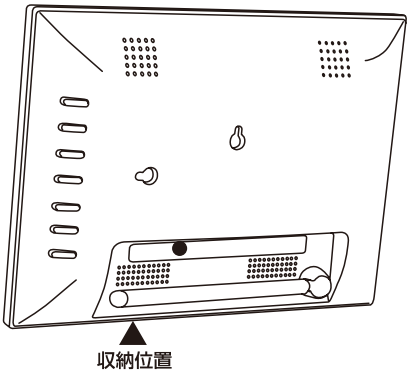
! ご注意

- 指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。
- 使用済みの電池は、自治体の定めた方法で処分してください。
- 高温多湿の場所にリモコンを放置しないでください。
- 電池の交換時などに、リモコン内部に異物が入らないようにしてください。
- 電池は正しく使わないと、液漏れや腐敗のおそれがあります。
  - 充電はしないでください。
  - リモコンを長期間使用しないときは、液漏れや腐敗を防ぐため、電池をリモコンから抜いてください。
  - 間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。

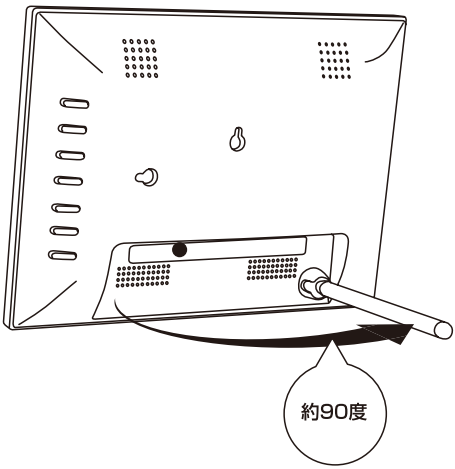
本書での説明について 取扱説明書内の操作は、リモコン操作を基本に説明をしています。

スタンドを立てる

1 本体背面のスタンドを収納位置より引き出します。



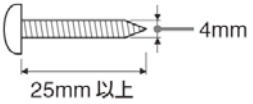
2 きちんと右側まで約 90 度のところまで引き出します。

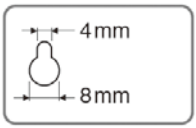


壁にかけて使用するには

下記の手順で本機を壁に取り付けることができます。

1 本機背面のネジ穴に合う市販のネジを用意する。

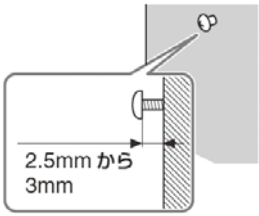




本機背面のネジ穴

2 壁に市販のネジをとめる。

ネジが壁から 2.5mm から 3mm、突き出した状態で壁に固定します。



3 本機背面のネジ穴とネジの位置を合わせてから取り付ける。

! ご注意

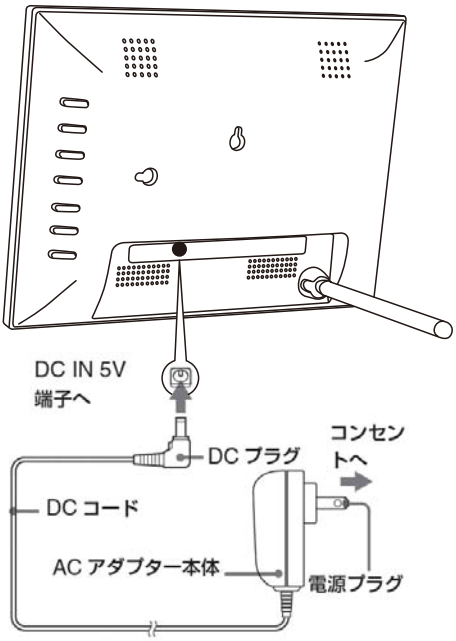
- 壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- メモリーカードを差し換えるときは本機をいったん壁から取りはずし、安定した場所でおこなってください。
- 本機を壁にかけてご使用する際は、スタンドを収納してください。
- AC アダプターを本機に接続してから壁にかけ、その後にコンセントにつないでください。
- 取り付けの不備、強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。

電源をつなぐ

1 AC アダプターのプラグを本機背面の DC IN 5V 端子につなぐ。

2 AC アダプターをコンセントに差込む。

自動的に電源が入ります。



! ご注意

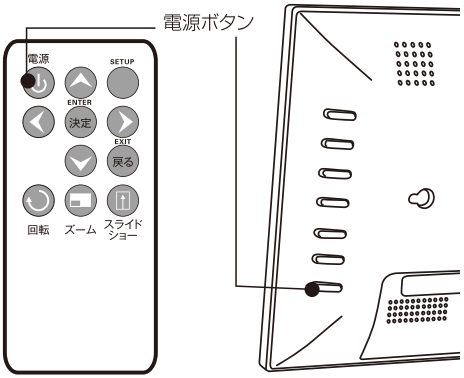
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- 使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- AC アダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- AC アダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、AC アダプターを本機の DC IN 5V 端子から抜き、AC アダプターをコンセントから取りはずしてください。

電源を入れる

前項までの準備で、電源がすでに入っている場合は、ここでの操作は不要です。

電源を入れる

本体またはリモコンの⏻（電源）ボタンを押します。本体画面に起動画面が表示されます。



電源を切る

本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタン押します。（本体の電源ボタンで操作する場合は電源がきれるまでボタンを押し続けて下さい。）

初期画面について

メモリーカードを接続しないで電源を入れると、下の初期画面が表示されます。

まずはじめに、**決定（ENTER）ボタン**を押して、メニュー画面から「設定」を選択し次に「日付／時計合わせ」の項目を選び日時を設定してください。

現在時刻を設定する

時計・カレンダー表示モードで時刻を表示するために、本機の時計合わせをしておく必要があります。

1 メニュー画面を表示する。

初期画面が表示されている場合は 内蔵メモリで**決定(ENTER)ボタン**を押します。スライドショーが表示されている場合は**戻る(EXIT)ボタン**を2回押してください。

2 ❮ ／ ❯ ボタンで(設定)タブを選ぶ。

設定メニュー画面が表示されます。

3 ▲／▼ ボタンで[日付／時計合わせ]を選び、決定(ENTER)ボタンを押す。

時計設定画面が表示されます。

4 日時を合わせる。

1❮ ／ ❯ ボタンで[年]を選ぶ。

2▲／▼ ボタンで数値を設定する。

3❮ ／ ❯ボタンで[月]を選ぶ。

4▲／▼ボタンで数値を設定する。

5❮ ／ ❯ボタンで[日]を選ぶ。

6▲／▼ボタンで数値を設定する。

7❮ ／ ❯ボタンで[時]を選ぶ。

8▲／▼ボタンで数値を設定する。

9❮ ／ ❯ボタンで[分]を選ぶ。

10▲／▼ボタンで数値を設定する。

11❮ ／ ❯ボタンで[am／pm]を選ぶ。

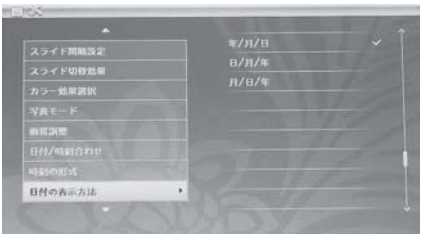
12▲／▼ボタンで文字を設定する。

最後に決定(ENTER)ボタンを押すと日時が設定されます。

日付の表示方法を選ぶ

日付の表示を下記の3種類から選ぶことが出来ます。
設定画面のメニューから
1 ∧／∨ ボタンで**[日付の表示方法]**を選び、**決定(ENTER)ボタン**を押す。
2 ∧／∨ ボタンで書式を選び、**決定(ENTER)ボタン**を押す。

- **年- 月- 日**
- **日- 月- 年**
- **月- 日- 年**



戻る（EXIT）ボタンを押す。

設定画面が終了します。

時刻の表示方法を選ぶ

時刻の表示をお好みで12時間表示／24時間表示の設定が出来ます。
設定メニュー画面から
1 ∧／∨ ボタンで**[時刻の表示方法]**を選び、**決定(ENTER)ボタン**を押す。
2 ∧／∨ ボタンで時間表示**[12 時間･24 時間表示]**を選び、**決定(ENTER)ボタン**を押す。

戻る（EXIT）ボタンを押す。

設定画面が終了します。

メモリーカード、USB メモリーをセットする

本体背面から見て、メモリーカードの表面を手前にして、スロットにしっかりと奥まで入れる。

メモリーカードが正しく挿入されると、本体にメモリーカードのアイコンが作成され自動的にスライドショーが開始されます。
本機で使用できるメモリーカードの詳細については、26 ページをご覧ください。

メモリーカードを取り出すには

スロットから、メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ取り出します。

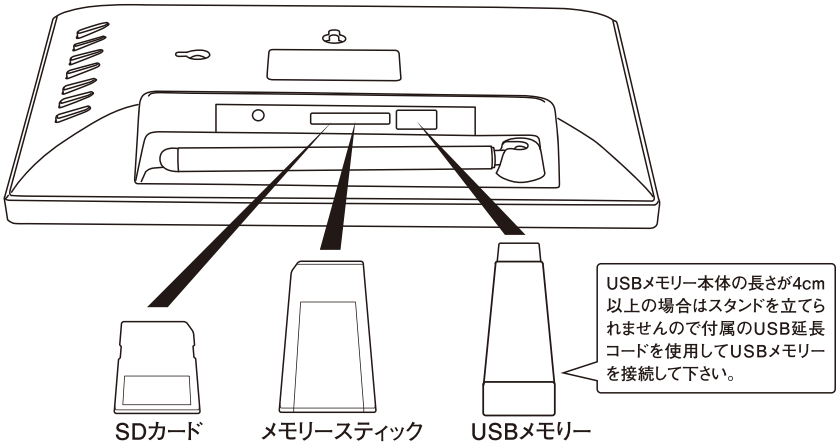
! ご注意

• メモリーカードを挿入するとき、無理な力をくわえて挿入をすると、メモリーカードまたは本機を破損する恐れがあります。

表示される画像の優先順位について

メモリーカードを挿入すると、挿入したメモリーカードの画像が自動的に表示されます。
表示するデバイスを切り換えるには、スライド表示中に**戻る（EXIT）ボタン**を3回押し初期メニューから再生したいデバイスを指定します。（16ページ）
表示される再生デバイスの優先順位は以下のとおりです。

• メモリーカード → USB メモリー
• 何も挿入・接続されていない場合
内蔵メモリーに保存されている画像が表示されます。



! ご注意

• 内蔵メモリーに記録した画像は、内蔵メモリーのデバイスの特性上、時間の経過や、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。
• 表示可能なファイルフォーマットは、JPEG です。それ以外のファイルフォーマット（TIFF、BMP など）は表示出来ません。
• USBケーブルで本機とパソコンを直接繋いでもパソコンの内容は表示出来ません。
• USBケーブルで本機とパソコンを直接繋いでも内蔵メモリーにはアクセス出来ません。

画面表示を切替える

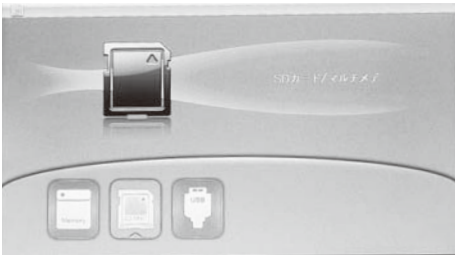
1 表示したいデバイスを選択する。

内蔵メモリー、メモリーカード、USB メモリーの中から再生したいデイバイスを❮／❯ボタンで選択する。

※メモリーカード、USB メモリーが押入されていない時はアイコンは表示されず内蔵メモリー以外は選択出来ません。

2 表示したいデバイスで決定(ENTER)ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



3 お好みの項目を選ぶ。

項　目	説　明
	サムネイル表示→ 写真表示
	カレンダー時計を表示します。
	メモリーの中のファイルを 選択出来ます。
	各種設定をします。

4 ❮/❯ボタンで項目を選び、決定(ENTER)ボタンを押す。

スライドショー表示

・スライドショー選択時の切り換え間隔、エフェクト、カラー効果、画像表示は「いろいろなスライドショーを設する」（18～19 ページ）で設定できます。

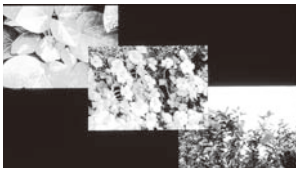
・スライドショー中、表示したい画像が現れたときに**決定(ENTER)ボタン**を押すと、一枚表示画面になります。

・本体のボタンでも操作できます。

画像	スタイル	説明
ⓐ	1 画面表示	1 つの画面を、次々と表示するスタイルです。
ⓑ	3 画面表示	複数画像を 3 画面表示するスタイルです。
ⓒ	4 画面表示	複数画像を 4 画面表示するスタイルです。
ⓓ	カレンダー表示	カレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時も表示されます。

ⓐ

ⓑ



ⓒ

ⓓ

時計・カレンダー表示

! ご注意

時計･カレンダー表示中は、❮／❯ボタン及び**戻る(EXIT)ボタン**で操作できます。

サムネイル表示

メニュー画面で写真ボタンを選択して**決定(ENTER) ボタン**を押す。

• サムネイルとは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルに記録されている、見出し用の小さいサイズの画像のことです。

• サムネール表示中、❮／❯／▲／▼字ボタンで画像を選び、**決定(ENTER)ボタン**を押すと、一枚表示画面になります。

一枚表示

画像	表示	説明
ⓐ	オリジナル表示	画像を切らずにそのまま表示します。
ⓑ	フルスクリーン	画像を全画面に表示します。縦横比を画面サイズに合わせて表示する為 4：3 の画像は横に変倍がかかります。
ⓒ	自動調整	画像を画像サイズに合わせた状態に適宜に自動調整して表示します。写真のサイズによって上下が切り取られて表示されます。

ⓐ

ⓑ

ⓒ

いろいろなスライドショーを設定する

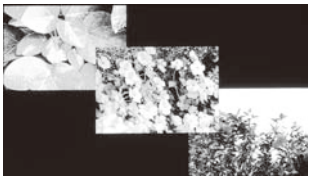
本機はさまざまなスライドショーを楽しむことが出来ます。
ここではスライドショーの設定方法について解説します。

■スライドの表示数を設定する

本機はスライドの表示枚数を次の3種類で設定できます。

●1画面表示

●3画面表示



●4画面表示

①スライド再生中に**戻る（EXIT）ボタン**を2回押しメニュー画面にする
②›で 設定ボタンに合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す
③⌄で**「スライド画面表示」**を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
④⌄⌃で画面の数を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
⑤⌄⌃で「終了」に合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す
※スライド再生中に**SET UPボタン**を押し画面数を選択することも可能です。

■スライドカラーを設定する

本機はスライドの表示色を次の3種類設定できます。

●**オリジナルカラー表示**（通常のカラー表示）
●**モノトーン表示**（白黒表示）
●**セピアカラー表示**（セピア表示）

①スライド再生中に**戻る（EXIT）ボタン**を2回押しメニュー画面にする
②›で 設定ボタンに合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す
③⌄で**「カラー効果選択」**を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
④⌄⌃で画面の色を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
⑤⌄⌃で**「終了」**に合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す

■スライドの間隔を設定する

本機はスライドの切り替え間隔を3秒～1時間の間で設定できます。

①スライド再生中に**戻る（EXIT）ボタン**を2回押しメニュー画面にする
②›で 設定ボタンに合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す
③⌄で**「スライド間隔設定」**を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
④⌄⌃で切り替え時間を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
⑤⌄⌃で**「終了」**に合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す

■スライド切替効果を設定する

本機は10種類のスライド切替効果が選択できます。

分割する	画面を上下・左右に分割しながら次画面に切り替えます
シャッター	画面をブラインドのように分割しながら次画面に切り替えます
ボックス	画面を 4 角から分割しながら次画面に切り替えます
フェード	フェードアウトしながら次画面に切り替えます
市松格子	格子模様で分割しながら次画面に切り替えます
ライン	細かい線で水平方向に分割しながら次画面に切り替えます
ストライプ	太いストライプで左右から分割しながら次画面に切り替えます
ローリングシャッター	ロールカーテンの用に画面を巻きつけながら次画面に切り替えます
垂直バー	細かい線で垂直方向に分割しながら次画面に切り替えます
ランダム	上記の切り替え効果をランダムに設定します

①スライド再生中に**戻る（EXIT）ボタン**を2回押しメニュー画面にする
②›で 設定ボタンに合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す
③⌄で**「スライド切替効果」**を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
④⌄⌃で切替効果を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
⑤⌄⌃で**「終了」**に合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す

■画像の表示サイズを設定する

本機は3種類の表示写真サイズ設定できます。

オリジナル表示　画像を切らずに元の写真サイズで表示します

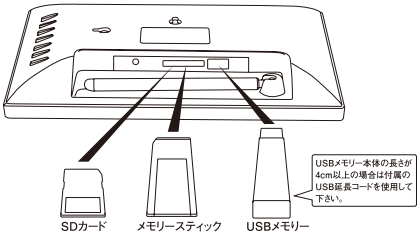
フルスクリーン　画像を全画面で表示します。縦横比を画面サイズに合わせて表示するため、4:3の画像は横に変倍が掛かります

自動調整　画像を画面に合わせた最適サイズに調整して表示します。写真のサイズによっては写真の上下または左右が切り取られて表示されます

①スライド再生中に**戻る（EXIT）ボタン**を2回押しメニュー画面にする
②›で 設定ボタンに合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す
③⌄で**「写真モード」**を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
④⌄⌃で写真の表示方法を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
⑤⌄⌃で**「終了」**に合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す

内蔵メモリーに写真（画像）を追加する

本機はメモリーカード･USBメモリーに記録した画像を内蔵メモリーにコピーすることが出来ます。
ここではメモリーカードから写真をコピーする場合について説明します。
（USBメモリーからコピーする場合も同様の方法で操作します）



■選択した写真（画像）をコピーする

①本機のメモリーカードスロット（USBメモリーの場合はUSBスロット）にメモリーカードを挿入する。
②自動的にスライドショーが始まります。
③スライド再生中に**戻る（EXIT）ボタン**を2回押しメニュー画面にする
④「ファイル」を‹ ›で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

⑤メモリーカードに記録されているフォルダーが表示されます。
⑥コピーしたい写真のフォルダーを⌄⌃で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

⑦フォルダーの中の写真が表示されます。
⑧コピーしたい写真を⌄⌃で選択し**SETUPボタン**を押す
⑨**「内蔵メモリーにコピーする」**を⌄⌃で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
内蔵メモリーにコピーが開始されます

■写真（画像）フォルダーを一括コピーする

①本機のメモリーカードスロット（USBメモリーの場合はUSBスロット）にメモリーカードを挿入する。
②自動的にスライドショーが始まります。
③スライド再生中に**戻る（EXIT）ボタン**を2回押しメニュー画面にする
④「ファイル」を‹ ›で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
⑤メモリーカードに記録されているフォルダーが表示されます。
⑥コピーしたい写真のフォルダーを⌄⌃で選択し**SETUPボタン**を押す
⑦**「内蔵メモリーにコピーする」**を⌄⌃で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す
⑧内蔵メモリーにコピーが開始されます
※フォルダー内の写真の数によってはコピーに数分掛かることがあります。「コピー中」の文字が消えるまでお待ちください。
※本機の内蔵メモリーの容量は256MBです。通常のモードで撮影した写真（1枚1.3MB換算）を約190枚格納出来ます。容量を超えた場合は「メモリーがいっぱいです」というアラートが表示されます。
この場合は次項の手順に従って不要な写真を削除して下さい。

内蔵メモリー内の写真（画像）を削除する

■選択した写真（画像）を削除する

※削除されたデータは元に戻すことが出来ませんのでご注意ください。

①初期画面から「 内蔵メモリー」を‹ ›で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

※メモリーカード、USBメモリーが挿入されていない場合は「 内蔵メモリー」のみ表示されています。

②「 ファイル」を‹ ›で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す。

③メモリーカードに記録されているフォルダーが表示されます。

④削除したい写真のフォルダーを⌄⌃で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

⑤フォルダーの中の写真が表示されます。

⑥削除したい写真を⌄⌃で選択し**SETUPボタン**を押す

⑦**「削除する」**を⌄⌃で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

内蔵メモリーから削除が開始されます

■写真（画像）フォルダーを一括削除する

※削除されたデータは元に戻すことが出来ませんのでご注意ください。

①初期画面から「 内蔵メモリー」を‹ ›で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

※メモリーカード、USBメモリーが挿入されていない場合は「 内蔵メモリー」のみ表示されています。

②「 ファイル」を‹ ›で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

③メモリーカードに記録されているフォルダーが表示されます。

④削除したい写真のフォルダーを⌄⌃で選択し**SETUPボタン**を押す

⑤**「削除する」**を⌄⌃で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

⑥内蔵メモリーからフォルダーの削除が開始されます

※フォルダー内の写真の数によっては削除に数分掛かることがあります。「削除中」の文字が消えるまでお待ちください。

■内蔵メモリーを初期化する

①上記の削除方法のほかにメモリーに記録されたデータを一括削除することが出来ます。

※削除されたデータは元に戻すことが出来ませんのでご注意ください。

②初期画面から「 内蔵メモリー」を‹ ›で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

※メモリーカード、USBメモリーが挿入されていない場合は「 内蔵メモリー」のみ表示されています。

③「 設定」を‹ ›で選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

④⌄で**「内蔵メモリの初期化」**を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

⑤⌄⌃で「はい」を選択し**決定（ENTER）ボタン**を押す

内蔵メモリーの初期化が開始されます

※記録されたデータは全て消去されます。消去されたデータは元に戻すことは出来ませんので十分注意してください。

⑥⌄⌃で**「終了」**に合わせ**決定（ENTER）ボタン**を押す

画像の拡大と位置を調整する

スライド再生中に**決定(ENTER)ボタン**を1回押す
スライドショーが停止し静止画面になります。❮ ❯で拡大したい写真を選択します。
拡大「ZOOM」ボタンを押すとボタンを押すごとに画像が3段階に拡大し、4回目に標準の大きさに戻ります。
拡大した画像の表示位置は❮ ❯ ❯ ❮で調整してください。
※調整した画像を保存することはできません。

画像を回転する

スライド再生中に**決定(ENTER)ボタン**を1回押す
スライドショーが停止し静止画面になります。❮ ❯で回転したい写真を選択します。
回転「ROTATE」ボタンを押すとボタンを押すごとに画像が90°右回転し、4回目に標準の状態に戻ります。

※調整した画像を保存することはできません。

困ったときは

故障かな?と思ったら

下記項目をいま 1 度点検してください。解決しない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグは正しく差し込んでありますか？	正しく接続してください。

画像表示に関して

「電源は入っているが画像が表示されない。」または、「操作画面の設定ができない。」こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	• メモリーカードは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。(15 ページ)
	• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？	画像の入っているメモリーカードを入れてください。 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。(15ページ)
	• ファイルフォーマットは DCF に準拠していますか?	DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
一部の画像が表示されない。	• サムネイル表示で画像が表示されていますか?	サムネイル表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、1枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。 DCFに準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか?	コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• メモリーカード内に6階層を超えるフォルダーがありませんか?	6階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示出来ません。

症状	チェック項目	対処方法
ファイル名が正しく表示されない。	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか?	コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。

画像を保存、削除する

症状	チェック項目	対処方法
保存できない。	• 内蔵メモリーが一杯になっていませんか?	不要な画像を削除してください。(21ページ)
誤って消してしまった。		1 度削除したファイルは元に戻せません。

本体

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない。		電源を一度切り、再度入れなおしてください。

リモコン

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない	• 電池は入っていますか? • 電池の容量が減っていませんか?	電池を入れてください。(10ページ) 電池を交換してください。(10ページ)
		リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。(10ページ) 本体リモコン受光部の近くには物を置かないでください。
	• 絶縁シートが入っていませんか?	絶縁シートを引き抜いてください。(10ページ)

使用上のご注意

設置上のご注意

●安定した場所に置いてください。
●ぶつけたり、落としたりしないでください。
●次のような場所には置かないでください。
- 不安定な場所
- ほこりの多い場所
- 極端に温度の高い又は低い場所
- 振動の多い場所
- 湿気の多い場所
- 直射日光の当たる場所

ACアダプターについてのご注意

●本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。
●付属のACアダプター以外を使用しないでください。

結露について

結露した状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

お手入れ

本機が汚れたときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、絶対に使用しないでください。

複製の禁止事項

他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

本機を廃棄するときのご注意

本機で[内蔵メモリーの初期化]を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全に消去されないことがあります。
本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

カード使用上のご注意

●ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
●メモリカードを挿入するとき、無理な力をくわえて挿入をすると、メモリーカードまたは本機を破損する恐れがあります。
●データの読み込み、書き込み中、アクセス中に、カードを抜かないでください。
または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
●大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
●コンピューターで加工した画像は、再生できないことがあります。
●持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
●端子部には手や金属で触れないでください。
●強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
●分解したり、改造したりしないでください。
●水にぬらさないでください。
●以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
- 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

本機で使用出来るメモリーカード

SD メモリーカード

本機では下記をご使用になれます。
●SD メモリーカード *2
●miniSD カード、microSD カード（アダプターが必要です）
●SDHC メモリーカード *1
●MMC 規格メモリーカード
ただし、すべての SD メモリーカード、MMC 規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。
*1 16GB までの SDHC メモリーカードで動作確認を行っています。
*2 2GB までの SD 規格メモリーカードで動作確認を行っています。

メモリースティック

使用上のご注意
●著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。

主な仕様

■本体
液晶画面
液晶パネル：7.0 型、(アナログ)
解像度：800×480 ピクセル
縦横比：16:9
入出力端子
USB 端子／メモリースティック／
SD メモリーカード /MMC
表示可能なファイルフォーマット
JPEG
画像ファイル名
DCF 形式、128 文字 6 階層以下
内蔵メモリー容量
256MB(保存ファイル数:約190枚　※1枚あたり1.3MB換算)
電源
AC アダプター　5V、1.0A
動作温度
5℃～ 35℃
外形寸法
（スタンドセット時）
約 232 x 168 x 145 mm（幅／高さ／奥行き）
（壁掛け時）
約 232 x 168 x 38 mm（幅／高さ／奥行き）
質量
約 410g（AC アダプター含まず）
同梱品
「同梱品」（7 ページ）参照
■同梱 AC アダプター
定格入力
AC100V - 240V、50/60Hz　0.2A
定格出力
DC 5V、1 A
※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。